



ワカモノを対象としたワークショップ

(仲間と一緒に、江田島市の未来を話してみない?)

江田島市企画振興課

目次

■1ワカモノワークショップ概要	
・目的と議題の募集	3p
・実施内容	4p
■2テーマについて	5p
■3各チームの発表	6～8p
■4アンケート結果	9p
■5参加者の感想	10p
■6まとめ	11p

1-1.ワカモノワークショップの概要

■目的

まちづくりへの関心を高めるとともに、同世代で交流をしながら、地域とのつながりをつくるきっかけとすることを目的として実施しました。

また、市が抱える課題について、ワカモノ世代ならではの視点やアイデアを取り入れ、新たな気づきや改善につなげることを目指しました。

■議題の募集

市役所内の各課から、ワカモノ世代の意見やアイデアを取り入れ、一緒に考えたい課題を募集しました。

1-2. ワカモノワークショップの概要

■実施内容

大柿市民センターで、参加者同士が交流しながら、市が抱える課題について意見交換を行いました。

参加者は、「こんな方法があったら良い」「もっと利用したくなるにはどうしたら良いか」といった視点から、自由にアイデアを出し合いました。

(1) 実施日 令和8年8月8日(土)開催

(2) 参加者 14名

(3) 要件 江田島市在住又は、仕事や大学のフィールド

ワークなどで江田島市で活動している方(18歳~40代)

※大柿高校からの参加を募集(18歳以下)

2. テーマについて

■テーマ:みんなが行きたくなる公共施設って？

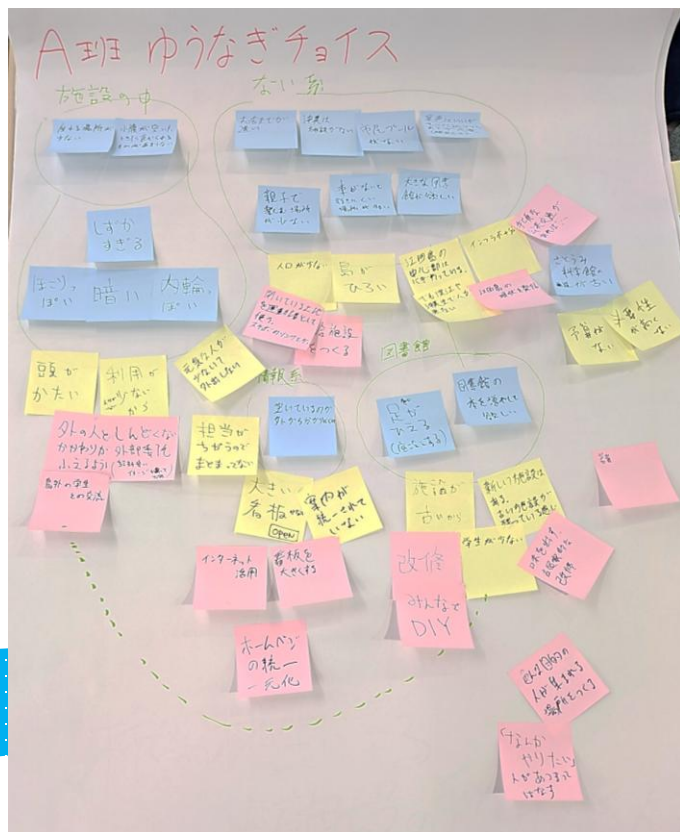
●本ワークショップでは、「みんなが行きたくなる公共施設って？」をテーマとして実施しました。

●市内には図書館、市民センター、さとうみ科学館等の様々な公共施設があり、もっと利用しやすく、もっと行きたくなる場所にするにはどうしたらよいでしょうか。

●今後の公共施設のあり方や、利用しやすいまちづくりを考える上で、実際に施設を利用するワカモノ世代の率直な意見やアイデアを聞くため、今回のテーマを設定をしました。

3-1. 各グループの内容(まとめ)

■A班 ゆうなぎチョイスチーム



【問題点】

- 施設の空き状況が分かりにくい
- アクセスが良くない
- ないものがある

(親子で遊べる場所・大きな図書館・市民プール・車が無いと移動が不便) など

【改善策】

- インターネットを活用し施設の状況が分かるようにする。(情報の統一)
- 手軽な公共交通
- 複合施設

(さとうみ科学+図書館+子供が遊べる場所+他。広くゆとりがある場所) など

3-2. 各グループの内容(まとめ)

■ B班 マッスルリーダーチーム

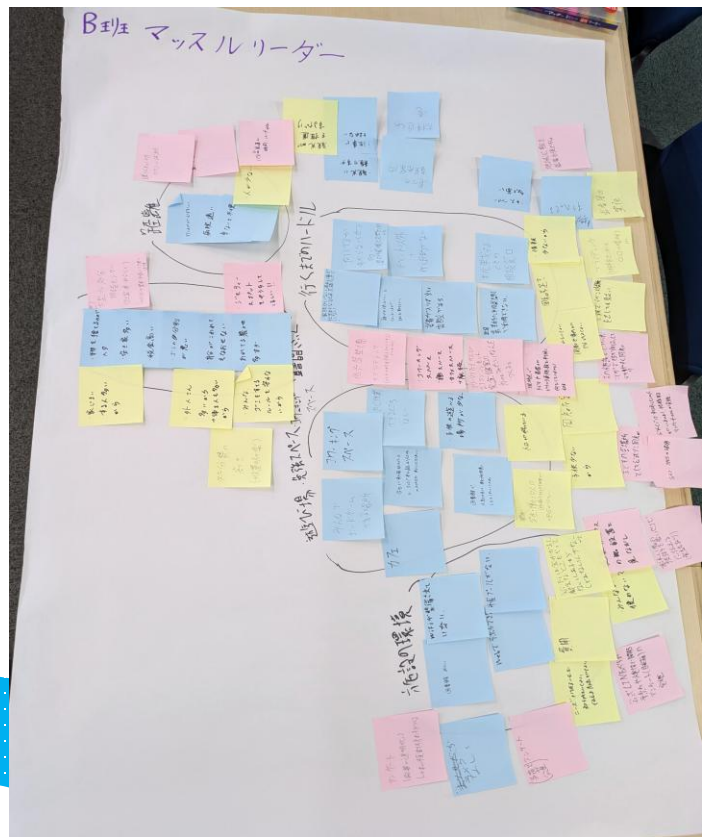
【問題点】

- 遊び場・勉強スペース等の不足
- 公共施設を利用するまでのハードルが高い
- Wi-Fiや空調、Web予約など、施設の環境に改善の余地がある
- ごみの分別や空き家・空き地など、地域の環境に関する課題 など

【改善策】

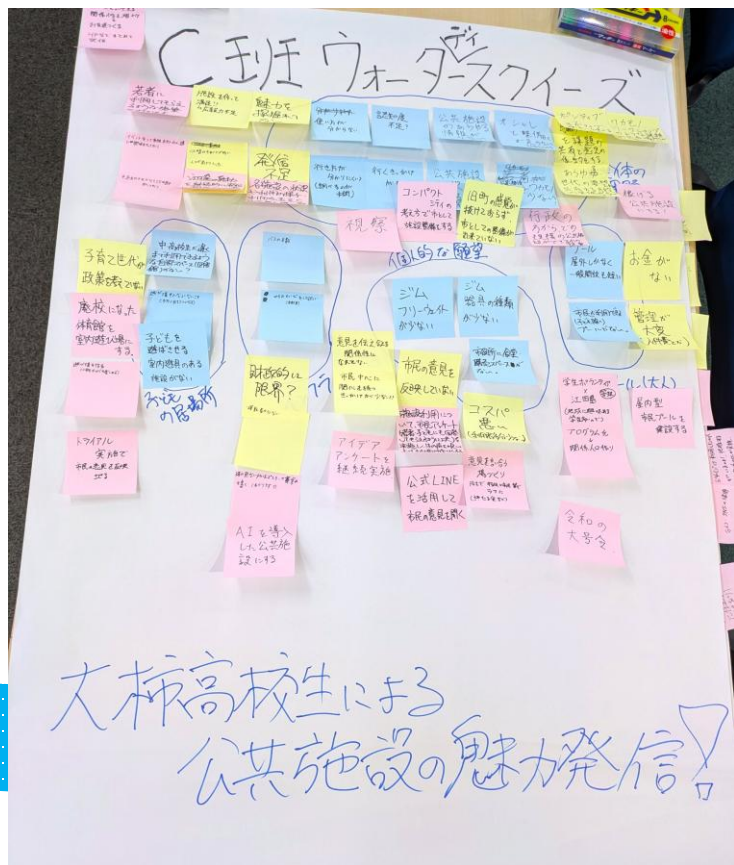
- コワーキングスペース(カフェ)をつくる。
(Wi-Fi・空調完備・ネットで予約可能)
- その施設で、できることを例示し
分かりやす周知する。
- 地域で不用品を譲り合える「ジモティースポット」
のような場をつくる など

※ジモティーとは、地域の人同士が不用品の譲渡や売買などを行える地域掲示板サイト(アプリ)です。



3-3. 各グループの内容(まとめ)

■C班 ウォーターディスクイズ



【問題点】

- 子供の居場所がない
- ジムやプールがない
- 公共施設に行くきっかけがない
(情報や利用方法が分かりにくい)

など

【改善策】

- 廃校になった学校等を活用し子供の遊び場をつくる。
- 複合施設
(プール等・公式LINEで市民の意見を聞く。)
- 施設の利用方法等をSNSで発信

8 など

4. アンケート結果

●参加者に行ったアンケートでは次のような結果になった。

年代	10代	20代	30代	40代		
アンケート 記入人数	3人	3人	5人	2	アンケート 回収率	93%

Q1満足度

今日の満足度を教えてください

	回答	割合
とても満足	10	77%
満足	2	15%
普通	1	8%
やや不満	0	0%
不満	0	0%

Q2参加しやすさ

意見を出しやすい雰囲気でしたか

	回答	割合
とてもそう思う	11	85%
そう思う	1	8%
どちらともいえない	1	8%
やや不満	0	0%
不満	0	0%

Q3内容について

テーマは考えやすい内容でしたか

	回答	割合
とてもそう思う	8	62%
そう思う	4	31%
どちらともいえない	1	8%
あまり思わない	0	0%
思わない	0	0%

Q4気づき・学び

新たな気づきや発見はありましたか

	回答	割合
とてもあった	6	46%
あった	7	54%
どちらともいえない	0	0%
あまりなかった	0	0%
なかった	0	0%

Q5発言機会

ご自身の意見を十分伝えられてたか

	回答	割合
十分できた	8	62%
ある程度	5	38%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
できなかった	0	0%

Q6今後の参加意向

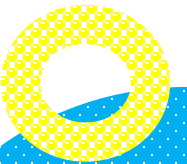
今後もこのようなワークショップに参加
したいですか

	回答	割合
ぜひ参加した	8	62%
参加したい	4	31%
どちらともいえない	1	8%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%

5. 参加者の感想



- 島の公共施設の課題を共有できてよかった。また開催してください。
- このような会をもっと増やしたいと思った。次はもっと若者を入れましょう！！
- ふだん関わることが少ない方と出会う場になった。
- 新しい繋がりもできたので楽しかった。



6.まとめ



今年度はじめてワカモノワークショップを開催したが、江田島市の未来について関わりたいと思っている若い世代の存在を知ることができました。

●利用しやすい公共施設について

Wi-Fiや空調、Web予約、交通アクセスなど、公共施設をより便利で利用しやすくするための意見が出されました。また、単独で利用するだけではなく、複数の機能を組み合わせた「複合的な施設」を求める声もありました。

●情報発信について

「施設やイベントの情報が分かりにくい」「どのように利用すればよいか分からない」といった意見があり。SNSなどを活用して、若い世代に届きやすい情報発信を求める声が出されました。

●人が集まり、交流できる場所について

勉強や遊び、イベントなど、さまざまな目的で気軽に利用できる場所を求める意見がありました。また、公共施設をきっかけに、人と人との交流や新たなつながりが生まれることを期待する声もありました。

●まちづくりへの関わりについて

参加者同士の交流を通じて、普段は話す機会のない人とも意見を交わすことができました。また参加した大桄高校生からは、学生目線での情報発信に取り組んでみたいという声もあり、ワークショップをきっかけに参加者自身がまちづくりに関わる動きもみられました。

今回いただいた意見やアイデアを、今後の公共施設のあり方や、より利用しやすいまちづくりを考える際の参考とするとともに、今後もワカモノ世代がまちづくりについて考え、意見を言える機会をつくっていきます。